

787

特253

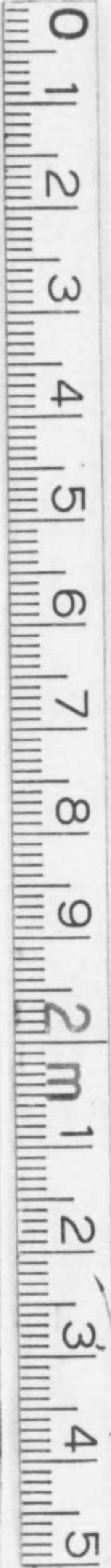
934

中將 四王天延孝閣下講演

【品賣非】

第二次世界大戰來と我國防

名古屋毎日新聞社發行



始



特253
734

我名古屋毎日新聞社は支那に於ける抗日的事件の頻發を中心とする極東政局の緊張並にスペイン動亂を統る歐洲國際關係の緊迫に鑑み十月八日夜名古屋市公會堂に於て『歐洲政局と極東問題大講演會』を開催、當夜帝國飛行協會總務理事陸軍中將四王天延孝閣下の『第二次世界大戰來と我國防』並に前スペイン駐劄特命全權公使青木新閣下の『スペイン動亂と歐洲の政局』と題する兩權威の剴切なる講演は滿場立錫の餘地なき聽衆に多大の感動を與へて示唆する所多く、且つその要旨は名古屋毎日新聞紙上に連載して好評を博したが、何れも刻下非常時に處する國民必讀の文字として各方面よりの要望もあり、特に速記による講演の全文を上梓して大方の清鑒に供する次第である。

昭和十一年十月

名古屋毎日新聞社

第二次世界大戰來と我國防



陸軍中將 四王天延孝



・世界大戰未來記・

只今御紹介にあづかりました四王天であります。

私は昭和五年の秋に當地の市會議事堂で『世界大戰未來記』といふ題で恐ろしい話をしたことがあります。私がこのことを述べたのに對して、徒らに世間を驚かし、要らざる豫言をした

といふ風に私を攻撃した方もあつたようでありませんが、今日世界の趨勢は、相當の有識者ですら、世界大戰來を説き廻るようになつた現狀であります。私がこの話をしましたのは滿洲事變以前でありまして、或る會合の席に於いて『若し我軍が近き將來に於いて干戈を交へることがなかつたならば、衆人滿座の中でお嗤ひ願ひたい』といつたのであります。

● 豫言は的中した。

ところが幸か、不幸か、その後間もなく滿洲事變が勃發して私の豫言が的中しました。爾來今日の非常時局となつたのでありますが、近頃又私の所へ諸方から手紙が参りまして『世界の大勢はあなたが仰しやつた通りになつて來ましたが、いつ世界戦争が始まりますか』といつて私に聞く人があります。併しそれは何も私が青山穩田（かみ）の行者の飯野吉三郎のように神憑り（かみか）に依つてさういふことをいつた譯ではない、私は過去十數年來心血を濺いで研究してゐる世界の秘密結社フリー・メイソンのプロトコルに依つてさういふ豫測を下した迄であります。第二の世界大戦がいつ始まるかと聞かれても、何月何日に始まりますといふことは一寸いへない、その點は私も聞かれて困るのであります。

● 歐洲大戦の裏面を發く。

歐洲では目下ロシヤとドイツの争ひが非常に悪化してをりますから、近き將來にはどうしても必ず衝突するであらうと思ひますが、私の判断は更に一步を進めて戦争の危機の裏面を剔抉して見たいと思ひます。先般の世界大戦を解剖して見ると、奇々怪々の事實が裏面に潜んでゐるのであります。世界大戦の表面の原因は歴史家が述べてゐる通りに前世紀の末つ方起つた彼の普佛戦争のやり直しである、或ひはパン・ゲルマンズと、パン・スラヴィニズムとの衝突であるとも見られるのであります。實はあの戦争を仕組んだものは世界の大秘密結社であるフリー・メイソンでありまして、それに點火したのも亦フリー・メイソンの徒であります。即ち一九一四年（大正四年）六月二十八日セル

ヴィヤのサラエボといふ町で奥太利の皇太子フエルヂナンド太公夫妻が暗殺されたのが大戦勃發の動機となつたのでありますが、この暗殺犯人はセルヴィヤ生れのユダヤ人であつたのであります。而も越えて三年後の一九一七年六月二十八日には彼等秘密結社の徒はバリに於いて奥國皇儲暗殺三周年記念祭を開きました。さうしてその時に戦争終熄後一ツの超國家的機關を組織し、各國の主權を抑へて行かうとして十三ヶ條の基礎案を作りましたがこれを後に十ヶ條増して全文二十三ヶ條として出來たのが國際聯盟規約の基礎であります。あとでこれをウヰルソンが物にした譯であります。

● 戦争誘發の目的。

さて何のために世界の一大秘密結社であるフリー・メイソンが前後五ヶ年の長年月に亘り死

傷者二千萬、國帑三千億に上るといふ世界大戦を起させたか、それには何か目的がなければならぬ、それは即ち一九二一年——大戦の三年前にドイツのスイツトガルトに於いてフリー・メイソンが一ツの決議をしてをります。それは當時バルカン半島を中心に歐洲の時局は風雲急を告げてゐたのであるが、彼等はこの戦争來の危機に對して如何なる態度をとるべきかに就いて協議した、その結果先づ平和運動を起して戦争の勃發を百方防ぐようにする、若し起つたならば速に戦争を終熄するよう盡力する、且つ戦争の齎らした各國の政治的、經濟的危機を利用して民衆を煽動し帝政を覆へして共和國とすると共に資本主義を打倒すべく革命に導かなければならぬ、といふことを決議したのであります。

かくて世界大戦が勃發するや數年を出でない間にその目的の半ばを達したのであります。即

ち歐洲に於ける最大の陸軍國であり、帝國であつたロシア、ドイツ、奧太利の三國には遂に革命が勃發して帝政が覆へされ共和國となつてしまひました。

・フリー・メーソンの正体・

この恐るべきフリー・メーソンとは如何なるものであるかといふと、一言にしていへば世界革命を目的とするユダヤ人の秘密結社でありまして、これには英米派のフリー・メーソンと、大陸派のフリー・メーソンとがあります。英米派のフリー・メーソンは表面飽迄も博愛慈善を標榜して平和主義の假面の下に進んで行かうとしてをりますが、フランスに根據を置く大陸派のフリー・メーソンは表面は自由、平等、博愛をモットーとして、實はレヴオリューション（革命）に依つて進まうとしてをるのであります。

四
す。要するにこの兩者とも歸着するところは君主政治を廢して民主政治を行はうとするのであります。

・戦争と革命は不可分・

ロシアのトロツキーは曾つて斯んなことを申しました『今日に於いては戦争と革命との間には何等の分界がない、革命の目的を達するには戦争勃發といふ一つの大きな動機をつくるに限る』——これは恐らく彼等の偽はらない心情であらうと思ひます。而もこのことは今日も少しも變つてをらないのであります。

世界大戦當時と今日とを比較してフリー・メーソンの全貌を窺ふと、先般の大戦當時には會員が世界中で二百三十五萬人あつたものが、今日では四百四十八萬人に膨脹してをるのであります。さうして彼等は今でも何とかしてもう一

度世界大戦を起させ、その機會に残りの國々に革命を起して帝政を廢し、徹底的な民主政治を確立しようと考へてをるやうであります。

今日「人民戦線」の聲が世界各地に起つてをるのもその一ツの現はれであります。これは昨年七月莫斯科に於いて開かれた世界共産黨（コンミンタール）の第七回大會に於きまして第三インターナショナルが今迄仇敵のように罵つてをつた、第二インターナショナルと提携して人民戦線をつくり、ファシズムに對抗するといふことを決議したことも亦それでありまして。彼等は斯くしてプロレタリアの統一戦線を組織してファツシヨに當るといふことをいつてをりますが、この「人民戦線」の結成といふことも次の世界大戦の準備工作であると私は見てをるのであります。

・シヨットウエルの妄言・

然るに世間には此秘密結社のことに就いてはそんな馬鹿げたことはないといつて頭から否定し、且つ戦争も起らないといふような判断を下す人が相當有識者階級の中にあるのは洵に遺憾であります。此間も東京の或る座談會の席上で司法界に於ける相當有力な大官が近き將來には戦争がないといはれた、其論據を伺つて見ると彼の不戦條約の執筆者であるシヨットウエル博士（ユダヤ人）が先頃日本に來た時に斯ういつた、——昔は戦争といふものは極く僅かの兵器と軍費とを以て輕々しく戦が出来た、ところが今日では非常に莫大な兵器彈藥を要する、又金も非常に澤山使はなければならぬ。而も最後の勝利を獲て相手國から償金をドツサリとれるかといふとそれは大いに疑問である。だから一流

國、金持國は戦争をしない方針に傾いてゐる、さうなると小さな國がいくらギョー／＼騒ぎ立てても戦争にはなるまい——シヨットウエル博士はさういふことをいつたが洵に尤もであると思つたといふ話でありました。——其時私は直感したことを申すのでありますが、それは彼等ユダヤ人は一見非常に眞面目に見える、即ちユダヤ人といふものは人に接することが上手であつて、現に世界に名優として成功してゐるものゝ中にもユダヤ人が多い、だから此の司法界の有力者もツイさういふ風に、眞面目な西洋人の學者のいふことだから本當だらうと信用されたのであると思つたのであります。

今日他の方面でもまだ戦争は起るまいと判断する人があるようであるが、實際は今度のスペインの内亂が動機となり露獨の對立がますます／＼尖鋭化してをる際でありますから、全く一觸即

發の危機にあると思ひます。

是は角力でも三役の大角力になると中々急に立上がらない、揮擔ぎの角力ならすぐ仕切つて立上がるけれども、大角力になると入念に仕切直しをやつてかゝる、國際間の角力もそれと同じである。又角力の行司役であるフリー・メーソンもいろ／＼時期を見て仕切直しをさせる、其材料が又いろ／＼ある、其一ツは軍縮會議であります。少し此邊で水を入れたいといふ時には必ず軍縮會議といふことを持出す。或は又世界經濟會議といふものをやる、此二ツの會議を入り換り立ち代り使つて戦争の時期の熟するのを待つといふやり方をするのであります。

●極東の情勢如何●

さて然らば次に極東方面の情勢は如何であり

ませうか。最近日露の漁業權問題もロシア側の讓歩に依つてどうやら圓滿に解決したらしい様子であります。併し單にそれだけで以て日露の間には衝突がない、日露間に横はつてをる暗雲が解消したと考へるとそれは甚だ大間違ひであると思ひます。今度のロシアの讓歩も結局歐洲に於ける最近の情勢——即ちスペインの動亂やドイツの勃興、それに國內に於ける内訌等が及ぼした影響に依るものであります。つまり歐洲の方が危くなつたから一時、日本の歡心を買ふために一步讓つたものと見て宜しいのであります。あれだけの事柄で以て日露が親善になるなどといふことは毛頭考へられないことではありません。

元來北洋の魚は別にロシアが金を出して拵へたものでも何でもなし、全く天與のものである日本人がそこへ行つてドシ／＼魚を捕まへて來

るといふことは當り前であると思ふ、日本海の魚は此方は幾ら彼等と雖も餘り主張する權利がないと思つたか黙まつてゐる、又今度の北洋漁業權の讓歩なども、日本人が幾ら魚を捕つたつて彼等には損の行かないことでもあります。

それに元來ロシアといふ國は憲法を見ても分かるように共產黨主義を標榜し、自分の國ばかりで満足せず餘所の國に迄共產革命を起させることをその信條としてゐるような危険極まる國であります。これは彼の國の存続する限り共產主義を擲うつものではないと思ひます。その點から申しても我が金匱無缺の帝國とソリが合ふ筈がない、根本に於いて日露兩國は氷炭相容れざる立場にあるのであります。従つて日露親善といふことも本當に肚からの親善は望まれない譯であります。

・排日の裏面を見よ。

更に支那は如何なる状態かと見ますと、最近不祥事件が相踵いで起つたことは諸君も御承知の通りであります。昭和七年一月八日櫻田門外に於いて一兇漢が鹵簿に對し奉つて大不敬を敢てしたことがあります。調べて見ると其兇漢は半島人であつて其背後には上海の秘密結社があるといふことが暴露したのであります。

其年の四月二十九日、天長節の祝日に當つて上海で又事件が起つた。即ち我軍司令官の白川大將、重光公使、野村大將、植田中將等が祝賀式に參列してゐる所へ爆弾を擲げたものがある。これも其兇漢は半島人であつた。半島人であつて見れば日本としては何處へも其尻を持つて行くことが出来ない。當時私は彼等秘密結社が其小手調べとして、斯かる兇行を初めは尻の

持つて行きどころのない人間にやらせるかも知れぬが、國際關係が緊張して來ると、今度は尻の持つて行きどころのある人間を使つてやらせるだらうと申したのであるが果せる哉、其後に至つて上海で中山水兵事件、萱生事件が勃發し、更に最近は成都、北海及び上海に於いて續けざまに兇惡なテロ事件が勃發したのであります。

・蔣と秘密結社。

併し私は支那四億の人達が皆悉く日本人憎むべし、殺戮すべしと考へてゐるかといふと斷じてさうではないと信じます。今度の不祥事件は皆秘密結社の策動に因るものでありまして、中には蔣介石が援助してゐる秘密結社もあります。即ち復興社（藍衣社の別名）C・O團（セントラル・クラブの略稱）武昌行營副秘俱樂部（武

昌の大本營に於ける蔣介石の副官及秘書官の團體）を初め其他干城同志會、黃埔同學會、憲兵幹部團、鐵血隊等があつて、これ等の過激分子に指導された青年や學生が亂暴を働く譯であります。穩健なる一般支那人は決して日本人に對してそんな殺意などを持つてはをらぬと信ずる支那人は元來『日出でて作し、日入りて憩ふ、井を鑿して飲み、田を耕して食らふ、帝力我に於いて何かあらん』といった風な考へを持つてをりまして、昔から支配者が誰であらうとも、自分の生命財産さへ安固であればいゝのだといふ思想が支那四億の人民の考へ方であります。然るに秘密結社が魔の手を伸ばして盛んに侮日抗日を鼓吹するために無智な支那人が日本に對して理由なき反感を抱くようになるのであります。

私は此間飛驒の下呂温泉に行つて其處の旅館

に仔熊が飼はれてゐるのを見て感心しました。其仔熊は別に鎖で繋がれもせず旅館の番頭が行くと後から犬がついて行くように一緒にノツノツと町を歩いて行く、少しも人を恐れないと共に又人に危害も加へない、よく懐いてゐる、私は此仔熊を見て卒然として支那問題に想到したのであります。支那四億の民衆は決して日本に對して敵愾心を持つてゐない筈であるが、それが今日のような事態になつたといふことは皆排日を鼓吹する小學讀本などの罪であつて、蔣介石等爲政者の責任であると考へられるのであります。支那政府が排日思想を鼓吹しなければ決して斯んなことにはならぬ筈であります。そこで私は腰折を一首得た。

熊の仔はやまと心に懐きけり

唐土人も斯くやあらなむ

・支那の背後の勢力・

とに角、秘密結社の魔手が動いてゐるから不祥事件が續發するのであります。今日の状態では支那に在る我日本人は到底安穩に生活することは出来ない、勿論現に我が川越大使が蒋介石と嚴重な膝詰談判をしてゐるのであります。支那問題は單に支那政府相手だけのことでないといふところに其複雑性、重大性があります。

即ち支那の背後には英、米其他いろ／＼な第三者の勢力が潜んでゐる。それは即ち英米派のフリー・メイソンといふ秘密結社の勢力であつて、蒋介石をバックしてゐる有名な浙江財閥といふのがありますが、其浙江財閥をバックしてゐるものに英、米のユダヤ財閥があり、即ち秘密結社の中心を成した勢力がそれであるといふ

ことを忘れてはならないと思ひます。従つて支那問題は決して單純な支那のみの問題ではないのであります。

支那國民黨の元祖ともいふべき孫逸仙は實は世界秘密結社の東洋に於ける大立物であるといふことが西洋の書籍に書いてあります。従つて其孫逸仙の流れを汲んだ國民黨が此秘密結社と切つても切れぬ關係にあるといふことは容易に想像し得らるゝところであらうと思ひます。

蒋介石は川越大使との會見に於いて日支兩國が互讓妥協の精神を持つて外交の常道に依つて問題を解決したいといつてをりますが、支那の眞意は怪しいものであると考へます。第一に國民黨の綱領である三民主義の中には“打倒帝國主義”といふのがある、打倒帝國主義を國是とする以上、本當の日支親善は望まれないことは明かであります。

・米國と支那の關係・

一方眼を轉じて太平洋の向ふを眺めて見ますと、米國といふ大國が如何なる態度をとつてをるでせうか。

これは國の成立ちからして民主的の國家であります。常に口を開けば平和を愛好するものゝようにいつてをりますが、然らば何のために今日あんなに大きな海軍を持つてゐ乍ら更にこれを擴張するのであるか、陸軍機も四千臺から準備するといふのはどういふ譯であるか、北方のカナダと戦争を始めるとも思はれない、又南の方のメキシコとの間に大戦争が起るとも思へない、一體あの大きな海軍、大きな空軍を何處へ使はうとするのか、それは恐らく支那大陸が目標であらうと思ふ、これは私が何の根據もなくしていふのではないのであります。

私は歐洲大戰の際佛國に見學に行つてゐましたが、當時米國がまだ參戰せぬのにカシー飛行場には星條旗のマークをつけた飛行機が澤山あつたので、どうした譯かと聞いて見ると、それはアメリカの義勇隊の飛行機でありました。アメリカが會つて獨立戦争をやつた頃、フランスのラファエツト將軍の援助に依つて勝利を占めたといふので其御恩返しにラファエツト中隊なるものを組織して、同じ共和國のフランスを援助しドイツ帝國を膺懲するのだといふことであつた。其時私は他日、日支の間に紛争が起つた時必ずや北米共和國は支那共和國を助けて、日本帝國に向つて来るのぢやないかと考へたのであります。果然上海事變の際にはロバートといふ米國人飛行家が支那軍に参加して、我が軍のために其飛行機を打落されて戦死したことは皆さんも御承知のことと思ひます。更に當時表面

には現はれなかつたが、歐洲戦争の際ラファエツト中隊に屬してドイツの飛行機を二十四臺も射落した、ポールといふ飛行家も竊かに支那に來てをつたといふことであります。

此點から考へると將來萬一日支間に問題が生じて干戈を交へるようになった時は、今度はラファエツト中隊の如き小さなことではなく、五百臺も千臺も米國の飛行機が支那軍に加はるものと覺悟してをるべきであります。支那にはまだ飛行機らしい飛行機がないなどといつてゐるとヒドイ目に遭ふと思ひます。

●米露支の日本包圍●

今や世界はファツシヨと反ファツシヨ（人民戦線）との二ツの陣營に分かれようとしてゐる私は今度起る戦争は主義の戦争であり、思想の

戦ひであると信ずる。若し他日これが間違つてゐたら衆人満座の中で嗤つて頂きたいのであります。先頃左翼から右翼に轉向したフランスの或共產黨の領袖は斯ようなことをいつてをります。それは、フリー・メイソンの秘密結社は近くロシアと支那とを打つて一丸とする經濟組織をつくる。それから更に南に及ぼして印度に手を伸ばす、露、支、印と此三大國が結んだら世界總人口の半數を抱有することゝなつて歐洲の強國や日本が幾らギャン／＼騒いても問題にならぬだらうといふのであります。

此大方針に基いてか、其後支那の状態を見ると奇怪なことが多いのであります。即ち蔣介石は幾度も共匪討伐々々々と叫んでをりますが一向眞剣な討伐をやらない。日本が蔣介石に向つて日支共同で共產黨を攻撃しようぢやないかといつても彼は生返事ばかりしてゐて一向ハツ

キリしません。さうして露支兩國は動もすると一緒になる虞れがある。さうなると我國としては非常に迷惑なことになる譯であります。それから先年米國がロシアを承認して第一回の遺露大使を送りましたが、それはブリットといふユ

ダヤ人である。又ロシアから米國へやつて來て此談判を成功させた外務委員長リトヴィノフも亦ユダヤ人であります。米、露兩國は今日ペーリング海峡を間にしてアラスカとカムチャツカから双方手を握り合つてゐる有様であります。

そこで日本としては場合に依ると米、露、支の三國に包圍されるかも知れない形勢にあるのであります。若しも斯んなことになつたら實に不幸なことであつて、我々は極力此雪隠詰めに陥らぬようにしなければなりません。併し秘密結社の想定に依ると日本を雪隠詰めにするといふことが書いてある。さうなつた場合、我國と

しては軍事上、政治上、經濟上非常な困難な立場に遭遇する譯であるが、さうなつた場合はどうしてこれを突破することが出来るか。

●面白い地獄極樂論●

それに就いて宗教家の加藤咄堂先生に聞いた話ですが、咄堂先生は面白いことを申してをられます、それは地獄極樂論であります。御參考までに一寸簡単に申しますと、一體地獄があるかないかといふことは死んで見なければ分らないところが死んで還つたといふ人はない、けれども人間は一度は誰でも死ぬのだから、死んだ時に本當に地獄があつても、極樂があつても差支へないだけの信仰を平素から持つてをればいいぢやないか、地獄があるものと覺悟して信仰を持つてゐるといふことが必要であるといふのであります。

それと同じでありまして、第二の世界戦亂が私は來ると思つてゐる、或人はそんなものは來ないといふ、併し來ないだらうといつてをつて庶政一新も何もせずゐる時にソラ戦争だといふことになつたらどうします。三十億からの國費の中で軍費が大部分を占めてゐるのは多過ぎるとか何とかいつて軍備を怠つてゐて愈々戦争が勃發したらどうなります。戦争の仕組は秘密結社の徒がやるのですから、いつ何時どんな陰險兇惡な手段を用ゐて戦争を起させるかも知れません。それだけは我が國民も覺悟しておく必要があると思ふ、假令地獄があつても差支へないだけの準備をして平素から肚を決めておかなければならないと思ひます。

明治天皇の御製に

事なしとゆるふ心はなか／＼に

仇あるよりもあやふかりけり

と仰せられてあります。洵に『備有れば憂ひ無し』でありまして我々は最悪の場合——米、露支が日本を雪隠詰めにしようとして來る場合を豫想して、その覺悟をシツカリ決めておかねばなりません。

●政治家の認識不足●

然るに我が政治家の中で今日の國際危機を十分認識しないで「戦争なんぞないだらう」といふような言を吐く人があるのは甚だ遺憾であります。これは或政治家——近頃有名になつた政治家でありますが、某大學で講演をしてをられます。それが十錢本になつて近頃出てをります。斯んなことをいつてをられるのであります。

——斯ういふ戦争（歐洲戦争を指す）が五ヶ年も續いて、さうして人間の殺し合をやつた、

戦争といふものはつまり人間が人間を殺す、最も澤山殺した者が最も偉らい者になるのであります。（中略）今日東洋の天を眺めますと、どうも東洋の天は極めて晴々としてゐない、明朗であるといふ感じが起つて來ない、何處かに一抹の暗雲が起りかゝつてをるといふような感じがするのであります。（中略）東洋の天が明朗でないとはどういふことであるか、即ち戦争の處れがあるといふことであります。若し日露兩國に於いて軍備の競争をやつてをつて一朝これが破裂したならばどうであるか、これは大變であります。

斯んなことをいふ政治家があるので我々が如何に國防といふことを論じましても、傍らから斯ういふ人達に依つて壞はされてしまふのは甚だ遺憾に思ふところでありませう。更に猶ほ斯ういつてをります。

——ウラジオストツクからロシヤの飛行機が東京に飛んで來て、爆彈投下をやつて悠々ともとの地に引返す位のことには極めて容易であります。無論向ふがやれば此方もやるのであります。併し向ふは日本の首府を襲撃することが出来るが日本はロシヤの首府を襲撃することが出来るかといふとそれは出来るものではない、其處に日本の弱點があるのであります。併してこれは一場の夢物語でありましてさういふことは起る譯はない。

この人はおしまひには到頭一場の夢物語にしてしまつたが、決して夢物語ではありません。イザとなつて戦争が始まつたら直ちに敵機が襲來するのであります。東京でも、大阪でも、又名古屋でも皆敵機が襲來するものと覺悟してをらなければなりません。それであるからこそ皆さんも防空演習といふことをおやりになるので

あります。ロシヤには五千キロも飛んで来る飛行機がありますが、さういふ時代に戦争といへば今なほ昔の日露戦争時代の頭腦でいろ／＼なことをいふ政治家があるのは洵に困つたものであります。

● 國防と空軍の出現

そこで次に國防といふことに就いて申し上げますが、國防といふものは歐洲大戰を契機として非常に變化したのであります。それはいふ迄もなく空軍の出現に依るものであります。この空軍の出現に依つて先づ第一に起つた變化は、それは空間的には戦地と内地との區別といふものがなくなつたこととあります。

もう一ツは平時と戦時との區別が時間的に曖昧になつたこととあります。昔は最後通牒を發して四十八時間経つて回答があるか、ないか待

つて、それから自由行動を開始するといふのであります。今日そんな悠長なことをしてゐられない、空軍といふものが出現した以上昔のようなやり方をして交戦状態に入らうとしてマゴ／＼してゐると宋襄の仁と申しますか、此方が滅茶々にやられてしまふのであります。即ち爆撃が宣戦の布告といふことになるのでありますから、やはり此方から先に向ふをやらなければなりません。東京や名古屋がやられる前にウラジオストクをやつてしまはなければならぬのであります。

● 外交手段頼むべからず

外交上の手段が駄目になつたらいつ何時そんなことが起らぬとも限らないと思ひます。それを國際聯盟があるからなどといつてエチオピアのように國際聯盟を頼つてゐるととんでもない

ことになります。エチオピアを御覽になればその間のことがよくお分かりになると思ひますがエチオピアは一生懸命國際聯盟を頼つてをたが遂にあんなみじめな目に遭つて國が亡びてしまひました。

國際聯盟などといふものはその意味からいふと、あれは腐つた橋の欄干のようなものであります。恰好だけは立派であるがあんなものを頼りにして掴まつたら最後、腐つた欄干が壊れて崖の下へ落つこちてしまふ。現にエチオピアが掴まらうとして轉落した、もうこれから先は何といつても自己の力を充實することであつて、外交上の手段は無論盡すべきことは盡さなければならぬが、その次に來るものは空軍の襲撃であるといふことを知らなければなりません。

● 露軍將校の廣言

最近或る陸軍の人が露國から還つて來ました

が、その話が面白い、——向ふでロシヤの將校達が送別會を開いてくれた、その時ロシヤの將校がいふには『日露戦争の時には君の國が宣戦布告をする前の二月五日に旅順港外に攻撃して來た、あの時は我々の方ではまだ戦争にはなるまいと思つて上陸して宴會をやつてゐたからヒドイ目に遭つたが、今度こそは僕の方から空軍を以てお先に失禮するから、そのつもりでやつてくれ』——といつたさうであります。とに角平時と戦時との區別がなくなり、ウラジオストクから東京迄三時間ほどでやつて來られるといふことをよく考へておかなければならぬと思ひます。

● 空軍は破壊し陸軍は占領す

第三は戦術上の變化であります。昔は飛道具といへば砲兵の攻撃が主でありました。砲兵が

攻撃をやつてそれから歩兵が進んで行く、『砲兵は破壊し歩兵は占領す』といはれてをつたのであります。而もその飛道具が四キロや八キロ飛ぶのではなしに二百キロ、五百キロ、或は千キロといふ風に人間が飛び道具に乗つて飛んで行く、さうして弾丸を落すといふのが今日の空軍であります。斯ういふ飛行機といふものが出来て来たために今日では『空軍は破壊し陸軍は占領す』といふ風に變つて来た譯であります。戦術上から見てそんな變化が起つて参つたのであります。

又戦術上から申しますと、昔は『作戦の目的は敵軍の主力を求めてこれを撃滅するに在り、その相手國の敵對觀念を失はしめるよう敵軍の主力を殲滅するに在り』といふことであつた。ところが今日兩軍の兵力が著しい懸隔があれば問題でないけれども兩國とも同じような兵力を

持つてをるとすると、動もすれば陣地戦になり易いのであります。我々としては即戦即決主義で戦争が始まつたら直ちに敵軍の主力を求めてこれを撃滅したいと思ふのであるが兩軍の兵力が餘り懸隔のない時は陣地戦になつて来る、そこで敵軍の戦線を越え、山を越え、海を越えて向ふの國の弱點を衝くといふ戦法が一番いいことになる『敵軍の主力を求めてこれを撃滅する』といふ原則は變りませんが、『作戦の目的は敵國の弱點を衝いてこれより崩壊を促がすに在り』といふことになつて来たのであります。それには飛行機に依る爆撃といふことが最も有効であると思ふのであります。

・都市爆撃の目的・

元來飛行機の爆撃といふことには二ツの目的があります。一ツは實害を與へる、つまり鐵道

線路、港灣、兵器工場等に直接實害を與へる事である、もう一ツは實害はないが人心を動搖させる、忠君愛國の念慮の薄い人民の澤山住まつてゐるところを狙つて爆撃して人心に動搖を與へ、危険思想にカブレてゐる輩が騒ぎ出すようにすることである、併しこれも市民が皆固い信念を抱いて上下相協力して流言蜚語に迷はされず、一意専心國家のために防禦に努めるといふようになつたら、いくら彼等と雖も大なる危険を冒して爆撃にやつて來ないだらうと思ひます。

又此名古屋といふ所は御承知の通り近くに飛行聯隊があり、航空機製造會社があり、又飛行學校もあつて航空思想が非常に發達してゐるところとは私も大いに喜ばしく感ずるところであります。

それから民間航空のことです。此點は

日本はまだ不十分であります。民間航空は空軍第二線で國防上から見て最も重要なものであります。イザといふ場合には軍用機の数が足りなくて困ることもあるだらうと思ひますが其場合に民間航空といふことが非常に重大な役割を爲す譯であります。米國のワシントンでは近頃百五十人ぐらゐの民間航空の人々が防空演習を頻りにやつてをる、日本でも此際大いに民間航空を充實して義勇飛行隊といふようなものでも出来れば非常に心強い譯であります。

・防空演習の眼目・

要するに防空演習の眼目とするところは國民の精神的結束にあるのであります。其結果を鞏固にするには何か其中心がなければならぬ、幸ひ我國は 天皇を中心として行けば舉國一致が必ず出来るのであります。これは他國の絶對に

眞似の出来ないところであつて、例へば今内亂のスペインでも人民戦線派の政府が倒れて右翼ファッショ派が勝つたとしても國の中心をどうするかが問題である、再びアルフォンソ十三世をお迎へして中心とするか、それも今日の狀態では甚だ困難な状態にあるようであります。其點我日本は實に萬世一系の皇室を戴いてをりますから國家の中心は儼として在る譯でありまして我國民は其點最も幸福な國民であるといふことが出来ます。

今や世界は二ツの陣營に分かれました、即ちインヂヴィヂュアリズム(個人)主義が勝つか或は全體主義が勝つかであります。我日本の國は昔から己れを虚うして、所謂小我を没却して大我に生きるといふ考へ方で進んで來たものであります。さうして此惟神の大道を把握し給うたのが我が現神の 天皇である、我々國民は須

らく此 天皇を中心として金持は金を以つて、腕ツぶしの強いものは腕ツぶしを以て、筆を執るものは筆の力を以て、天壤無窮の皇運を扶翼しなければならぬと考へます。若し國民が本當に一致協力したら日本ほど強い國はないと思ひます。全くさうなれば日本は火の玉のような勢ひになつて、假令米、露、支の三國の包圍陣に遭つてもこれと對抗することは何でもないと思ひます。

● 經濟問題憂ふるに足らず。

斯ういふと、よくそれでは經濟上の問題はどうなるんだ、金は一體どうするんだといふ人があります。私は外國貿易は金で決済しなければなりません、國內のお互ひ同志の借貸は金でなくても何でもいと思ひます。どうせ我々は本當の金貨で以て賣買してゐる譯ではありませ

ん。これに就いて亡くなられた杉山茂丸翁から聞いたのですが、日本では一圓紙幣には銀一圓を以てこの紙幣と換へるといふことが書いてある、併し日本人はそんな考へでこの紙幣を扱つてゐない、銀貨に換へられようが、金貨に換へられようが、とに角天朝様の御發行になつてゐる紙幣であるから、その意味からいつて我國には財政の問題で革命なんぞ絶對に起ることはない、といふ話をされたのであります。が洵に面白い話であると思ひます。一圓紙幣を持つて行つて銀貨一圓に換へられようが、鉛一圓ななに換へられようが、或ひは單なる紙片だらうがお互に信用してをれば萬代不易であります。さういふ國體觀念さへあれば國內の經濟問題なんか易々として解決出来るのではないかと考へます。『金がない』『金がない』などといふことは全くユダヤ人の言草であります。さういふユダヤ人の

ようなヘンなことをいふ人が時々あるものから學國一致が破れるのであります。

● 惟神の道と國體の尊嚴。

日本は昔から自利、利他の精神を持つてやつて來ましたから、時には消長あり、盛衰があつても大體に於いて惟神の道に即して平和にやつて參つたのであります。世界の情勢が今日のように急迫して來た時こそ、益々我々は我が國體の尊嚴を發揮し國威を中外に發揚しなければなりません。さうして萬一政治方面、或は經濟方面、或は又教育方面に於いて匡正すべき點があれば大いに匡正することは勿論のことであります。それも皇道に順つてやる、決して危險思想やフリー・メイソンの傀儡となつては勞働問題農村問題の本當の解決は出來ないと思ひます。

● 第二の大戦來と國民の覺悟。

とに角、それにはエゴイズムやインヂヴィ
ヂユアリズムでなく、アルトライズム（利他
主義）で行かなければなりません。
明治天皇の御製にも

おのか身は顧みずして人のため

盡すそ人のつとめなりける

と仰せられてある。己れを虚うして人のため
に盡す、茲に本當の平和があるのであります
今日のようにインヂヴィヂユアリズムが横行
してゐては世界平和は迎も望めない。利己主
義、個人主義が徹底すれば金權萬能となつて
危険千萬であります。而もそれが結局彼等秘
密結社の思ふ壺に箝まる譯である、彼等フリ
ーメーソンの徒は今第二の世界大戦を目論見
其荒療治に依つて残つた國々に革命を起さう

として何處かで戦争が起きるようには劃策して
ゐる、日本としては戦争は好むところではな
いが仕かけられれば腰の刀を抜かざるを得な
い、抜かずにゐれば其儘日本はおしまひにな
つてしまふ、といふ所まで彼等は日本を追込
んで來るだらうと思ひます。我々としてはど
うしても彼等の陥穽に追込まれるようなこと
があつてはならぬといふことを此際聲を大に
して申し上げて今夕の私の話を終ることに致
します。

（完）

支那の秘密結社一覽

（但、蔣介石系統のもの）

支那に於ける政治的秘結社の最も大なるも
のは藍衣社であるが、現在では藍衣社以外同系
統のものが十四團體もあるといはれてゐる、藍
衣社は對外硬と蔣介石の獨裁確立を目標として
一九三一年秋、蔣介石の腹心賀衷寒、曾擴情、
胡宗南等黄埔軍官學校出身者十三人を中央幹部
として組織されたものであつて、昨年春復興社
と改稱した。因みに主なる秘結社十團體を舉
ぐると左の如くである。

一、復興社（藍衣社）蔣介石を終身社長とし
て推戴し其最高幹部には前記の賀衷寒、曾擴情
の外に青帮の首領杜月笙も加入してゐる。

二、C・C團 セントラル・クラブの略稱で
蔣介石とは同郷の陳立夫、陳果夫が牛耳つてゐ
るといはれてゐるが、實際の指導者は李壽雍、
旺寶階である。

三、鐵血隊 共產黨から國民黨に寝返りを打
つて蔣介石の幕僚となつた顧順章が首領である
自ら支那に於けるゲ・ベ・ウを以て任じ、テロ
行爲も辭せないといふ物騒な團體である。

四、青年國民黨 浙江財閥の少壯派を以て組
織されたC・C團のフラクションである。

五、武昌行營副秘俱樂部 總司令部武昌行營
の副官及び秘書より成るもの、湖北省首席揚永

秦（前武昌行營秘書長）が首領である。

六、黃埔同學會 赤いカデットの本源である廣東黃埔軍官學校の卒業生を以て組織され、賀衷寒、胡宗南が中心となつてゐる。

七、干城同志會 黃埔出身以外の蔣介石派の軍人を以て結成されてゐる。首領は昨年の共產軍討伐及び本年の廣東派壓迫に勇敢に奮闘した第十八軍長陳誠。

八、憲兵幹部團 蔣介石の最も信頼してゐる手兵である憲兵團中の幹部連を以て組織されてゐる、首領は南京警備司令兼首都憲兵司令谷正倫である。

九、勵志社 黃埔同學會の別動隊とも見るべく中央軍所屬の少壯將校の組織にかゝるもの、中心人物は汪日章。

十、四維社 蔣介石が支那民族覺醒のための運動として目下盛んに努力してゐる新生活運動

と密接なる關係を有しテロを排して教化啓蒙運動に進まうとしてゐる。首領は江西省主席熊式輝である。四維とは『禮、義、廉、恥』の四徳の四大綱を指すものである。即ちこの種團體中C・C團と共に比較的穩便な運動方針を執つてゐると見られてゐる。

昭和十一年十月二十五日印刷
昭和十一年十月二十八日發行

〔非賣品〕

發行兼印刷人 小塚 儒三

名古屋市中區村田町三丁目一番地

印刷所 株式會社 名古屋毎日新聞社

名古屋市中區新榮町三丁目三十八番地

名古屋市中區新榮町三丁目

發行所 株式會社 名古屋毎日新聞社

電話中局 三三五〇 三三五二
三三五〇 四六〇〇

339
1276

終



1028